保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合	新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れ方法などのご相談
東芝家電修理ご相談センター	**東芝家電ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-1048-41（フリーダイヤル）	フリーダイヤル 0120-1048-86 携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048 FAX 03-3425-2101（365日・8：00～20：00受付）

電話受付：365日・24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買いあげの日から1年間です。**
  詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品は製造打ち切り後６年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

修理を依頼されるときは　｜持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご相談ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買いあげ日	年　　月　　日
	お買いあげ店名	電話（　　　）　－

愛情点検

●長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。	●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。 ●コードを動かすと運転が止まるときがある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。

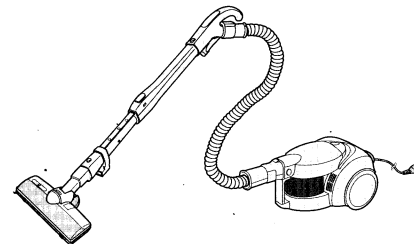
株式会社 **東芝** 家電機器社
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）

GJV－GVM－1

TOSHIBA

E&Eの東芝

東芝クリーナー（家庭用）取扱説明書

形名
VC-M9C

もくじ

- このたびは東芝クリーナーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

安全上のご注意

●ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害*1を負ったり、物的損害*2の発生が想定される内容を示します。

*1:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。
*2:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の説明

禁止
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

強制
●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

注意
△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠警告

改造はしない
また、修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

分解禁止

コード、電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
コンセント

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。
プラグを抜く

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因となります。
禁止

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電する場合があります。

水場での使用禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
プラグ

コードは黄マークの以上引き出さない
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止

床ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにはご注意ください。

接触禁止

コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
コードの損傷により感電することがあります。
禁止

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部は除く）は絶対に水洗いしない
感電・故障する場合があります。
水場での使用禁止

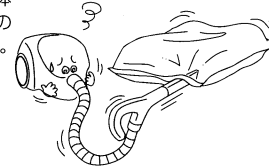
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因となります。

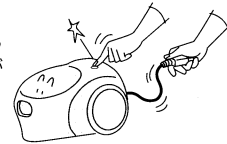
100V以外禁止

⚠注意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

プラグ

吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

禁止

コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがをすることがあります。

プラグ

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがやけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

排気口はふさがない
火災の原因となります。

禁止

火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

火気禁止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発や火災の原因になります。

禁止

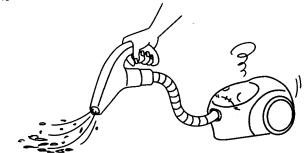
ホースの差込口、ホース,伸縮延長管の接点にピンを入れない
感電することがあります。

禁止

お願い

このクリーナーは家庭用です
●業務用には使用しないでください。
●掃除目的以外には使用しないでください。

つぎのものは吸わせないでください
■水などの液体や湿ったゴミ。
■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
■食品用ラップなどの通気性の悪いもの。
●故障やダストカップの傷つきの原因になります。

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しないでください
●床が傷ついたり、故障の原因になります。

床ブラシを床に強く押しつけたり、壁、家具などに強くあてないでください
●床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、力を入れずに片手で軽くすべらせてください。（伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。）
●伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わると、故障の原因となります。（やわらかく傷つきやすい木床材や、ワックス上のこすり傷が気になる場合は、別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。）
●砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。
●床にワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面に傷がつくことがあります。

各部のなまえとはたらき

調節ボタン
調節ボタンを押しながら長さを調節してください。

お願い
- 運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。急に縮んでけがをすることがあります。
- 調節板の下に指を入れたまま長さを調節すると、調節板にはさまれてけがをすることがあります。

調節ボタン

はずすときは押しながら

- 手元スイッチ 5ページ
- ホース
- ふた
- ふたクランプ 8ページ
- 形名表示位置
- フィルター目づまりサイン 10ページ
- ハンドル兼用コード巻取りボタン 5ページ
- すき間ノズル 7ページ
- コード
  運転中は、コードの巻き取り、引き出しをしないでください。
- 赤マーク
- 電源プラグ
- 黄マーク
  コードは黄マーク以上引き出さないでください。(断線の原因になります。)
- 前ハンドル
- スタンドストッパー
- 回転サイン
- カチッ
- けが注意ラベル
- 床ブラシ 6ページ
- すみとりブラシ
  壁ぎわのゴミをかきとるために斜めに出ています。
- 前取り吸口

①
②
ホース差込口
はずすときはボタンを押しながら

必ず取り付けてください
取り付けないと故障の原因となります。

- クリーンフィルター(白) (本体装着1枚) 10ページ
- カテキン入りマジックフィルター(青) (本体装着1枚) 10ページ
- 大型空気清浄フィルター (本体装着1枚) 11ページ
- ダストカップ 8ページ

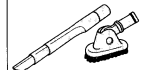
■標準付属品

- 床ブラシ(1個) 前取りパワーヘッド
- 伸縮延長管(1本)
- ホース(1本)

■応用付属品

- すき間ノズル(1個)
  - 7ページを参照して取りつけてください。
- 予備フィルターセット(ダストカップ用)

■別売品

品名	品番	価格
ふとん用ブラシ	VJ-B4	¥6,000(税別)
丸ブラシ(馬毛製)	VJ-M2U	¥1,200(税別)
ソフトフロアブラシ	VJ-F110	¥4,300(税別)
フリーアングルブラシ付3段伸縮すき間ノズル	VJ-N2	¥2,500(税別)

- 上記の価格は2001年11月現在の希望小売価格です。変更する場合もあります。

お掃除のしかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 手元スイッチを押す

自動

床ブラシを使った通常のお掃除をするとき
自動 を押す

床ブラシを取り付けることで、ゴミたまり具合に適した吸込力を自動的にコントロールして効率よいお掃除に
- 移動時など床ブラシ持ち上げたときは、吸込力を弱め、コントロールします。

手動

「強」でお掃除するとき
を2回押す

じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに
- ゴミのたまり具合に適した吸込力に自動的にコントロールします。

「弱」でお掃除するとき
を1回押す

静かにお掃除したいときやカーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に
すき間ノズルを使ったお掃除に

※ 弱/強 を押すごとに「弱 ↔ 強」が切り替わります。

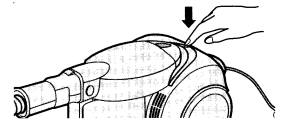
運転を止めるとき
切 を押す

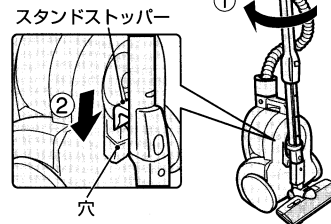
※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。

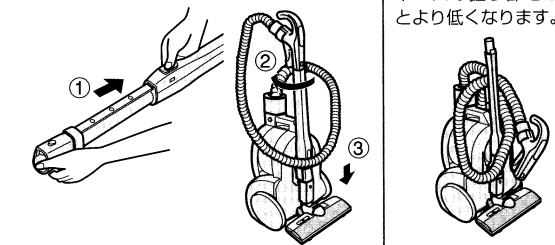
お知らせ ●大きなゴミなどを急激に吸い付かせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱め**、コントロールします。

お願い ●大きなゴミを吸い付かせたまま**約3分間使用すると**、モーターの過熱を防ぐため、**運転が自動的に止まります。**
このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

お掃除終了後は(収納のしかた)

お掃除終了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを持ち、ハンドル兼用コード巻取りボタンを押しながらコードを巻き取ります。
巻き取れない場合は、コードを1～2m引きだしてふたたび巻き取ってください。

スタンド収納

①伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
②スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

ミニ収納 押し入れなど、高さの低い場所での収納に

①伸縮延長管を縮める
②伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

お願い
- スタンドストッパーがはずれることがありますので、収納状態で持ち運ばないでください。
- 標準付属品の床ブラシ取り付け時以外には、スタンド収納をしないでください。はずれることがあります。

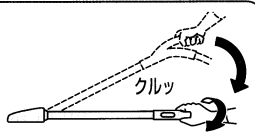
お掃除のコツ

低いところのお掃除

●手元を下げると低いところのお掃除ができます。
●手元をひねるとより奥までお掃除できます。

クルッ

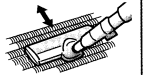
狭いところのお掃除

手もとをひねり床ブラシの向きを変えると、狭いところのお掃除ができます。

床のお掃除

床の傷つき防止のため、板目にそって片手で軽くすべらせます。

たたみのお掃除

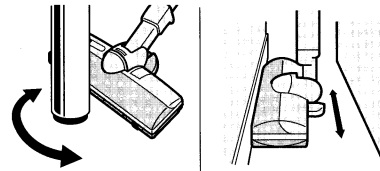
たたみの傷つき防止のため、たたみの目にそって片手で軽くすべらせます。

●手元を下げたときや、狭いところのお掃除をするときは、**スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。**傷をつけることがあります。
●床ブラシの向きを変えたあと、通常の位置にもどすときは、床ブラシを前に押しながらもどしてください。
●床、たたみの傷つき防止のため、片手で軽くすべらせるようにお掃除してください。

じゅうたんのお掃除

●吸いつきが強いじゅうたんやクッションフロアなどの床でお使いのときは、手元を低めにして床をすべらせるようにすると軽く動きます。
●新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

床ブラシの使いかた

前取り吸口について

●前取り吸口でテーブルの脚に溜まったホコリや狭いすき間のゴミをとります。

回転部について

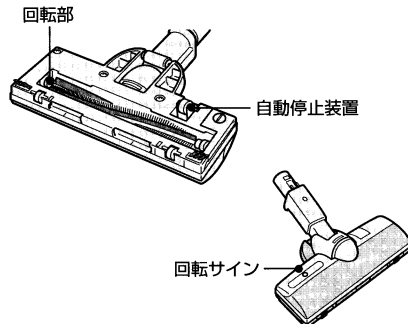
⚠警告	床ブラシの回転部など底面には触れない 手などをけがすることがあります。

この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと回転部が止まります。回転サインは、回転部が回転しているときだけ点灯します。

●床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
●床ブラシを持ち上げたときは、安全のため回転部は止まります。(ゆっくり回る場合もあります)
●床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
●ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、床ブラシの回転が止まることがあります。このようなときは、(切)を押し、運転を止め再び(弱/強)を押してお使いください。

回転部

自動停止装置

回転サイン

すき間ノズルの使いかた

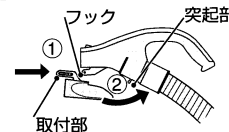
通常は、(弱/強)を1回押し、「弱」でお使いください。

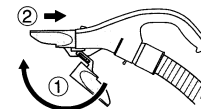
●強い吸込力でお掃除するときは、(弱/強)を2回押し、「強」でお使いください。

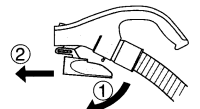
お願い
●床などに使わないでください。傷をつけることがあります。
●20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。
●「強」で連続使用すると、保護装置がはたらくことがあります。
●すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。
●すき間ノズルは収納状態でもはずれることがあります。

すき間ノズルは、手元スイッチ裏側のフックと突起部にセットするだけで、手軽に収納できます。
ホースにセットするときや、取りはずしてご使用になるときは、次のようにお取り扱いください。
●伸縮延長管の先にもセットして使用できます。

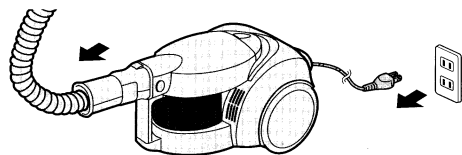
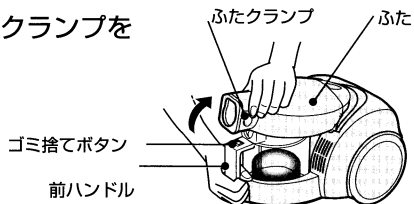
取り付けるとき

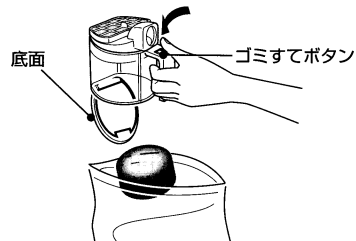
①すき間ノズルの取付部をフックと平行にし、止まるまで差し込む
②すき間ノズルの先を突起部にはめ込む

ホースにセットするとき

①すき間ノズルの先端を突起部からはずし、フックに引っかけたまま、ノズルの先端を180°回転させる
②ホースの先端にしっかり差し込む

取りはずすとき

①すき間ノズルの先を突起部からはずす
②フックと平行に、すき間ノズルを引き抜く

ゴミの捨てかた

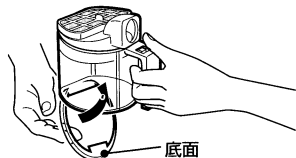
●お掃除が終ったらこまめにゴミを捨てましょう。
●ゴミすてラインを越えると吸込力が低下します。
●ダストカップの中でゴミが回転しなくなっても、ゴミすてライン以下であれば吸込力に影響はありません。

● **ゴミを捨てる前には 切 を押して運転を止め、ホース、電源プラグを抜いてください。**

1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける。

2 ダストカップを取り出し、大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れ、前ハンドルのゴミ捨てボタンを押す。

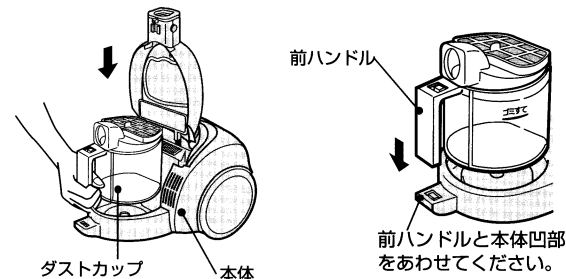
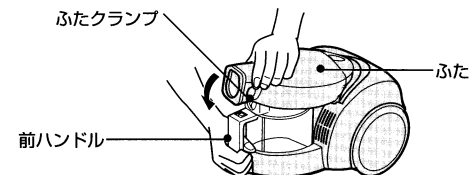
●ダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。
●ゴミを捨てる前にダストカップ側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。

お願い

●本体からダストカップを外すとき、ゴミ捨てボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。
●ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミ捨てボタンを押してください。
●ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。

3 ダストカップの底面を手で戻しカチッと音がなるまではめ込む。

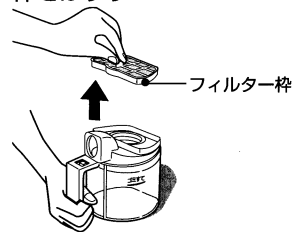
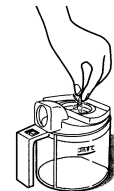
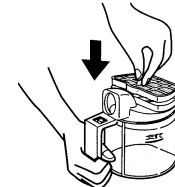
●ダストカップの底面が開いた状態でゴミ捨てボタンを押しても底面は戻りません

4 本体にダストカップをのせる。

5 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを閉める。

お願い

ふたで指をはさまないよう注意してください。

ダストカップ上部のゴミの捨てかた

大きなゴミを吸ったときや、ゴミすてラインを超えてゴミを吸ったときは、ダストカップ上部にゴミが残ってしまうことがあります。週1～2回はフィルター枠を取りはずして中のゴミを取りのぞいてください。

1 フィルター枠をはずす

2 フィルター枠についたゴミを取りのぞく

3 ダストカップ上部にたまったゴミを取りのぞく

4 ダストカップにフィルター枠をのせる

お願い ゴミの種類によりゴミすてラインにゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ゴミを捨ててフィルターのお手入れをしてください。

お手入れ

● お手入れの前には を押して運転を止め、ホースを抜いてください。

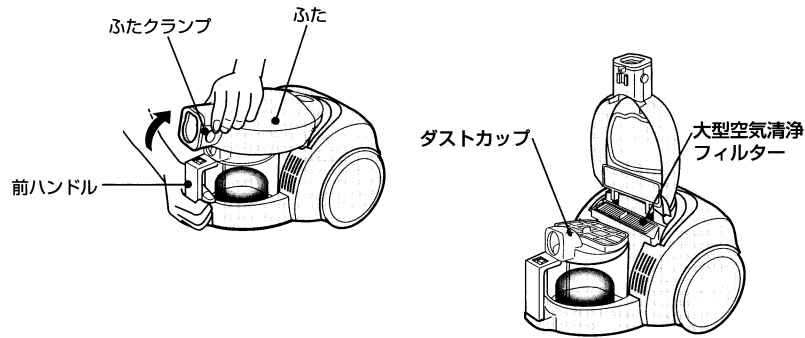
⚠警告 **本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部を除く）は絶対に水洗いしない**
感電・故障する場合があります。

- **ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき、フィルター、フィルター枠のお手入れをしてください。**
- **予備フィルター（ダストカップ用）が2枚ついています。**

フィルター目づまりサイン

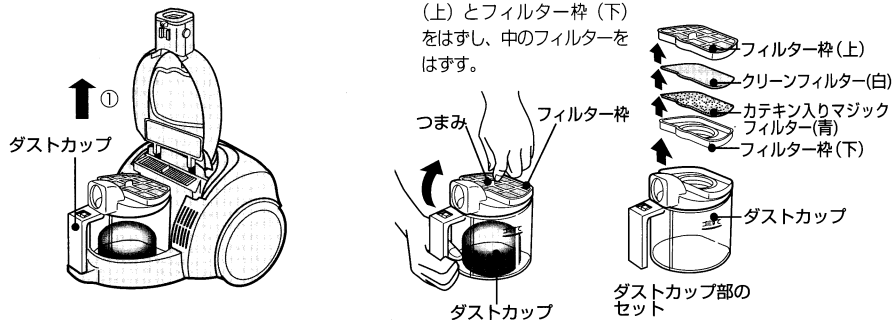
フィルターのお手入れ時期の目安をお知らせします。
フィルターが目づまりするとフィルター目づまりサインが点滅します。

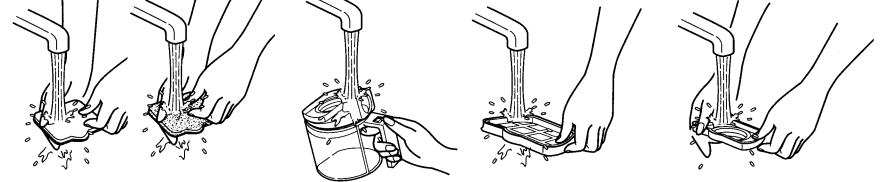
お願い
●吸込力を持続させるためにお掃除が終わったらこまめにゴミを捨ててください。

1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける

ダストカップ

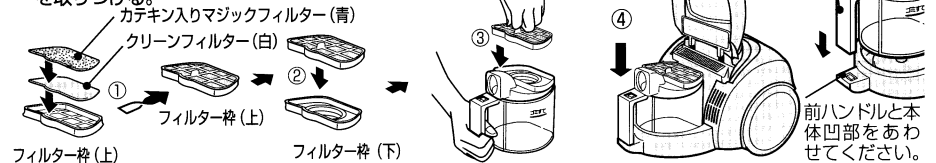
2 ダストカップを取りだし、各フィルターをはずす

①ダストカップを本体から取り出す。

②フィルター枠（上）のつまみを持ち上げ、フィルター枠（上）とフィルター枠（下）をはずし、中のフィルターをはずす。

3 フィルターを軽く押し洗い後、水気を切り、十分に自然乾燥させる

ダストカップ、フィルター枠（上）、フィルター枠（下）も水洗いし十分に乾燥させる。

お願い
●お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。
●細かいゴミを吸ったときは、フィルターをたたきゴミを落としてから水洗いしてください。
●毛のかたいブラシで洗ったり、ネットを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
●性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

4 各フィルターをセットし、ダストカップを本体に取り付ける

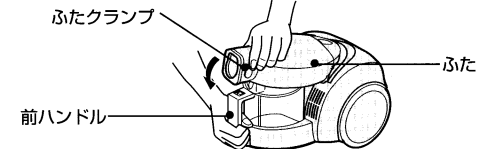
①フィルター枠（上）裏側にクリーンフィルター（白）の印刷面をフィルター枠（上）側に向けて取り付けその上に、カテキン入りマジックフィルター（青）を取りつける。
②フィルター枠（下）にフィルター枠（上）をセットする。
③ダストカップにセットする。
④本体に取り付ける。

お願い ●フィルターは必ず取りつけてください。フィルターがセットされていないとふたが閉まりません。

大型空気清浄フィルター

大型空気清浄フィルターを取り出し、軽くはたく

大型空気清浄フィルターは水洗いできません。

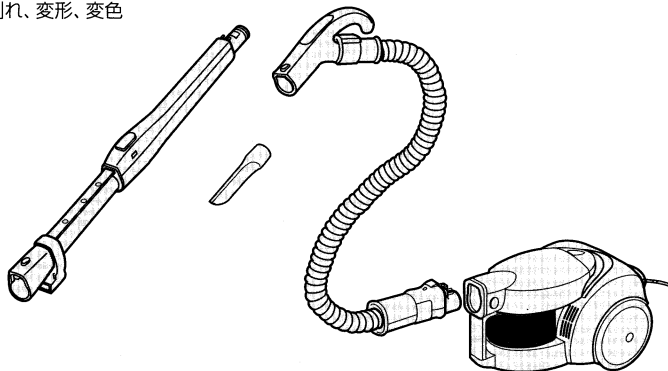
お願い
軽くはたいてください。
強くはたくと変形しゴミもれの原因になります。

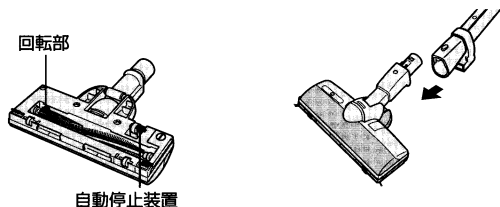
5 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを閉める

お願い
ふたで指をはさまないよう注意してください。

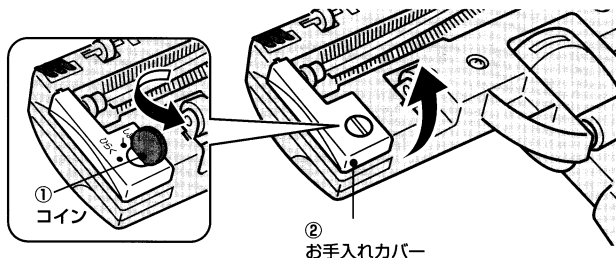
お知らせ ●新しいフィルターは、お買上げの販売店を通じて、取りよせることができます。（有料）

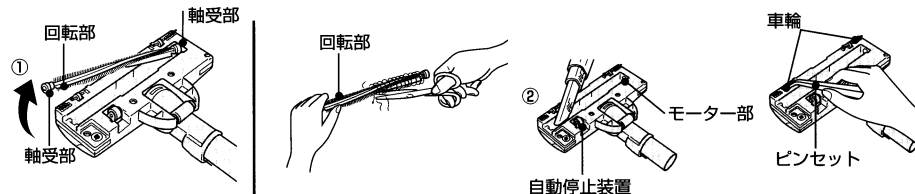
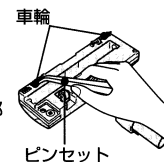
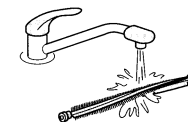
お手入れ(つづく)

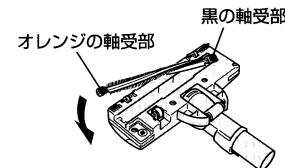
本　体・付属品

● 本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふいてください。ベンジンなどでふくと、ひび割れ、変形、変色の原因になります。

床ブラシ

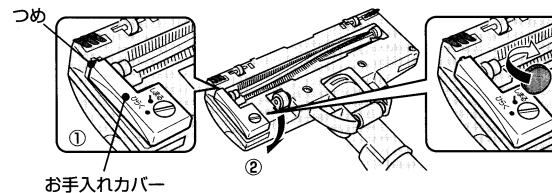
お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。お掃除の最後に、週1～2度お手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす。

①溝にコインを入れ「ひらく」の位置に合わせる。
②お手入れカバーを持ち上げる。

2 回転部をはずし、ゴミを取りのぞく。

①回転部、特に軸受部にからみついたゴミを取りのぞく。
　回転部に糸くずや毛がからみついたときは、はさみなどで取りのぞく。
②モーター部、自動停止装置にからみついたゴミをすき間ノズルで吸い取る。

車輪のまわりに入ったゴミをピンセットで取りのぞいてください。

3 回転部を水で洗い、陰干しにして十分に乾燥させる。

4 十分な乾燥を確認して回転部を取り付ける。

● 黒の軸受部をモーター側に合わせ、オレンジの軸受部をお手入れカバー側にセットする。

5 お手入れカバーを取り付ける。

①前のつめを合わせる。
②矢印の方向にセットする。

6 溝にコインを入れ「しまる」の位置にあわせる。

お願い

● 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
● 毛のかたいブラシで洗わないでください。
● ドライヤー、暖房器具などで乾かさないでください。
● 回転部の軸受には注油しないでください。
● ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間がないことを確かめてください。
　すき間があると回転部が回りません。

保護装置について

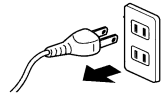
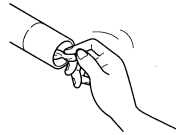
モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

保護装置がはたらくとき

●ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。

●ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき
●すき間ノズルで連続運転使用したとき
●夏期など室温が35℃を越えるとき
●吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき
●フィルター目づまりサインが点滅したまま使用したとき

保護装置がはたらいた場合

1 手元スイッチの(切)を押し、電源プラグをコンセントから抜く

2 ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取り除く

3 涼しい場所におく

▼

約1時間後、保護装置が解除され、
再び使用できます。

保護装置

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押しつけたとき

回転部(ブラシ)に異物を巻き込んだとき。

「切」スイッチを押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取り除きます。

保護装置が解除され、再び使用できます。

このようなときは

⚠警告
改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に ●ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●ホースが本体に差し込まれていますか。 ●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。 ●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	→しっかり差し込んでください。 →しっかり差し込んでください。 →本体の保護装置がはたらいています。 →本体の保護装置がはたらいています。	5 4 14 14
モーターの回転が変動する	●ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	→マイコンによる制御で異常ではありません。	5
吸込力が弱い	●ダストカップがゴミでいっぱいになってませんか。 ●ダストカップ、大型空気清浄フィルターの汚れがひどくありませんか。 ●フィルター目づまりサインが点滅していませんか。 ●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ゴミを捨ててください。 →お手入れしてください。 →フィルターをお手入れください。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	8~9 10 10~11 4
床ブラシの回転部が回転しない	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 ●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。 ●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。 ●自動停止装置にゴミがついていませんか。	→取りのぞいてください。 →お手入れカバーを取付け直してください。 →床ブラシの保護装置がはたらいています。 →取りのぞいてください。	13 13 14 12
コードが巻き取れない 引き出せない	●コードが片よって巻き取られていませんか。 ●コードがからんでいませんか。	→1~2m引き出してふたたび巻き取ってください。 →コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2~3回くり返してください。	5 5

それでも異常のある場合は、16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
●ご使用中、本体及びコード、排気風が熱く感じてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
●ゴミがたまってくるとモーターの回転数が高くなり音が少し大きくなりますが異常ではありません。
●ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率（真空度、風量）	運転音	集じん容量	コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W ~約250W	337 mm	250 mm	210 mm	5.1kg（ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む）	370W~約60W（24000Pa、1.4m³/min）	57dB ~約53dB	0.9L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率370W、運転音57dB